

令和7年度「研修マネジメント力協働開発プログラム(東北版)」実施要項

1 目 的

中央教育審議会答申（令和4年12月19日）は、子供たちの学習観の転換には、教師自身の研修観の転換が不可欠であると提言しています。

当機構（NITS）は、「研修観の転換」を通じて「令和の日本型学校教育」の実現を図るため、研修担当者が研修の在り方を問い続けることを支援し、その実践から得られた知見を共有・交流する、「学び合いの場」を創出します。これにより、研修担当者の教職員の学びに対する視野を広げ、持続的な研修の質の向上を図るとともに、このような「研修観の転換」に向けた「学び合いのコミュニティ」が、教職員研修を実施している各地の組織（教育センター、教職大学院、学校等）の中で形成され、つながることで、「学び合いのコミュニティ」が全国に広がっていくことを目指しています。

「研修マネジメント力協働開発プログラム(東北版)（「マネプロ(東北版)」）」は、このような「学び合いのコミュニティ」の醸成や、それを通じた教職員研修の持続的な深まりに資するよう、東北地域の研修担当者が、「教職員の学び」の在り方を協働的に問い、考え合う機会を提供するものです。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 協 力 秋田県教育委員会 宮城県教育委員会

4 開催場所

第1回 オンライン開催

第2回 秋田県総合教育センター（〒010-0101 秋田県潟上市天王字追分西 29-76）
宮城県総合教育センター（〒981-1217 宮城県名取市美田園 2-1-4）※駐車場なし
（※実施内容はどちらも同様。秋田会場か宮城会場どちらかを選択すること。）

第3回 オンライン開催

5 日 時

第1回（オンライン） 令和7年11月21日（金）13:00～15:00

第2回（対面） 令和7年12月12日（金）13:00～16:00 （秋田）
令和8年1月13日（火）13:00～16:00 （宮城）

第3回（オンライン） 令和8年2月17日（火）13:00～15:00

6 実施方法 対面とオンラインによるインターバル研修 （※第1回から第3回を通して1つのプログラムとなる。）

7 参 加 者

(1) 参加者数

各会場 50名程度（※応募状況により、調整の可能性あり）

(2) 参加資格

以下のいずれかに該当する者

ア 東北地域（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）における各教育委員会及び教育センターの指導主事等

イ 東北地域における幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の研究主任等

ウ 教職大学院の教員研修の企画に携わっている教員及び現職院生

(3) 参加者の決定

標準定員を踏まえて参加者数を調整し、参加決定者に対して決定通知を送付する。

8 研修内容（予定）

第1回	13:00～14:00	イントロダクション	「自己紹介」「研修観の転換に向けて」
	14:00～15:00	グループセッション	「今までの自分を振り返る」
第2回	12:30～13:00	受付	
	13:00～13:15	イントロダクション	「自己紹介」「第1回からの自分を振り返る」
	13:15～14:05	ワークショップ	「自分の研修観に気づく」
	14:05～14:20	休憩	
	14:20～14:50	グループセッション	「多様な『観』に気づく」
	14:50～15:10	話題提供	
	15:10～15:35	グループセッション	「これからのアクションを考える」
	15:35～16:00	リフレクション	「今日の学びを振り返る」
第3回	13:00～14:00	イントロダクション	「自己紹介」「前回の振り返り」
	14:00～15:00	グループセッション	「アクションの省察」

9 申込手続・申込期限

以下の Google Forms により申し込むこと。

Google Forms URL : <https://forms.gle/biuyXNsNktv9FpaA6>

申込期限は、令和7年10月31日(金)とする。

10 事前課題

参加者には別途案内する。

11 その他

- (1) 本研修はNITSが、令和6年12月に委嘱したNITSフェロー（東北地域：星野、和田）（別紙参照）とともに、開催する。
- (2) 本研修プログラムの参加に際し、特別な配慮(障害、持病等による)が必要な場合には、事前に教職員支援機構に相談すること。
- (3) 本研修は3日間の日程で開催する。申込をする際は、第2回（対面）への参加を必須条件とする。第1回、第3回（オンライン）については、事情により参加が難しい場合は、その限りではない。
(例)第1回（オンライン）と第2回（対面）の参加：可
第1回（オンライン）と第3回（オンライン）の参加：不可

NITS フェロー（「学び合いのコミュニティ」形成支援）について

独立行政法人教職員支援機構（NITS）では、教員免許更新制の発展的解消を受け、教職員研修の「研修観の転換」に向けて取組を進めています。

「研修観の転換」は、NITS 職員を含め、全国の研修担当者の学びの「観」が、広がったり変わったりする営みであり、研修担当者が、これまでと異なる研修の在り方に取り組み、その経験から得られた「気づき」を互いに学び合う中で、徐々に醸成されていくものだと考えています。

NITS においては、この「研修観の転換」に向けた「学び合いのコミュニティ」が、教職員研修を実施している各地の組織（教育センター、教職大学院、学校等）の中で形成され、つながっていくことで、共創分散型の「学び合いのコミュニティ」が全国に形作られていくことを目指しています。

NITS フェローは、各地で教職員研修のデザインについて継続的に学び合う場を設けることなどを通じて、「教職員の学び」に関する「学び合いのコミュニティ」の醸成を後押しすることを任務としています。

独立行政法人教職員支援機構 NITS フェロー（東北）紹介

	NITS フェロー 星野 眞理 氏
	認定特定非営利活動法人カタリバ
	茨城県内の公立中学校教諭を経て、現職
	NITS フェロー 和田 渉 氏
	秋田大学大学院教育学研究科 教授
	秋田県教育庁北教育事務所長、秋田県教育庁義務教育課長、秋田県教育庁教育次長等を経て、現職。

NITSフェローコーディネータ・
NITSフェロー（「学び合いのコミュニティ」形成支援）